



安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第11号

きらきら Eyeランド

JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

日照不足で登熟が遅れています！ 適期刈取に向け圃場を確認し判断を！

8月の日照時間は上旬が平年比62%、中下旬が58%と極端な日照不足となりました。登熟は全体的に遅れている状況ですが、出穂が早く概ね順調に登熟している圃場、籾数が多く登熟に時間がかかっている圃場と、例年以上に圃場ごとで登熟進度に差がみられます。

刈り遅れは品質に著しく影響します。積算気温を参考に、圃場全体を観察して枝梗の黄化や青籾歩合、籾水分をチェックし、総合的に刈取適期を判断して刈遅れのないように注意しましょう。

〔表1〕出穂期・収量構成要素の状況（生育診断圃）

品 種	項 目	出穂期 (月日)	止葉 (枚)	㎡当穂数 (本/㎡)	1穂籾数 (粒)	㎡当籾数 (粒)	穂揃期の 葉色 (SPAD)
はえぬき (荻島)	R4年	7/30	12.8	544	66.4	36,100	36.4
	平年比	4日早い	+0.5	100%	101%	101%	-1.0
つや姫 (漆曾根)	R4年	8/9	12.4	454	87.5	39,700	36.6
	平年比	1日早い	-0.2	100%	125%	126%	+3.3
雪若丸 (前川)	R4年	8/2	12.8	577	65.6	37,900	36.5
	平年比	2日早い	+0.2	94%	112%	105%	-0.7

技、其の一 刈取り前の圃場準備

今後は高温で経過する予報となっています。刈取り作業に支障のないように土壌条件をふまえて落水時期を決定し、スムーズに適期刈取りできるよう準備してください。

近年、一部圃場に雑草のクサネムが見られます。この黒い種子が玄米に混入すると選別機では除去されず、等級格下げの原因になります。発生のある圃場では、刈取り前に抜き取りましょう。

技、其の二 適期刈取りの目安

今年はお穂期が平年よりも1～4日程度早くなりましたが、その後の日照不足により登熟が緩慢になっています。特に籾数の多い圃場では顕著です。刈取り開始の判断は下表を参考にしながら、枝梗の黄化、青籾歩合、籾水分を見て総合的に判断し、適期刈取りできるよう計画を立てましょう。

【平坦地域刈取り適期の目安】(酒田アメダス値を利用 9/4まで実測値)

品 種	項 目	出穂期 (中心日)	出穂後の積算温度による本年の刈取り適期				
			9/10	9/15	9/20	9/30	10/5
はえぬき 雪若丸		8/2	9/12	[黒塗り]			
ひとめぼれ		8/2	9/12	9/15	[黒塗り]		
つや姫		8/11	[黒塗り]		9/23	10/3	

※「はえぬき」は、少照年のため刈取り開始目安を積算気温 1000℃(通常は 950℃) とする。 他の中生品種もそれに準ずる。

【刈取り開始時期の判断項目】

- ① 1穂の籾水分測定による判断…籾水分25%以下が刈取り開始時期で23%が適期!!
平均的な1穂の籾を全部脱粒し、青籾と混合して水分検定器(もみ測定に設定)で数回測定する。
- ② 1穂の青籾歩合による判断…20～15%の青籾歩合で刈取り開始

品 種	青籾歩合	籾水分
ひとめぼれ・つや姫	15%	25%
はえぬき・雪若丸	20%	25%

技、其の三 刈取り・乾燥・調製作業の留意点

- ① 刈取った籾はヤケ米の発生を防ぐため、速やかに(収穫後2時間以内)乾燥作業を行いましょう。
- ② 刈遅れは、胴割粒・着色粒の増加、玄米光沢の低下等、品質に著しく影響します。特に周辺より早めに出穂した圃場では、刈遅れによる品質低下に留意しましょう。(つや姫は刈遅れると茶米が発生する恐れがあります。)
- ③ 籾の急激な乾燥は胴割粒の発生を助長します。二段乾燥を励行し丁寧な乾燥・籾摺作業を行いましょう。
- ④ 適正水分は玄米で14.5～15.0%です。水分の戻りがないよう注意しましょう。
- ⑤ 近年アラ(籾殻)混入が目立っています。今一度ロールの調整・確認を行ないましょう。

技、其の四 混米(異品種混入)防止の徹底を!!

収穫・調製における品種の切替え時には、コンバイン・乾燥機・籾摺機の清掃記録をつけるなど混米防止に努めましょう。(清掃時には最初に必ず機械のエンジン・動力を停止する。その後、情性なく確実に停止していることを確認してから作業に入る)

共乾施設では、複数の生産者の籾が搬入されるため、一人の生産者のミスが他の多くの生産者に迷惑をかける事となります。刈取り搬入(特に刈取委託の場合)の際は、事前に刈取り圃場の品種、各施設の刈取り計画(月日、品種)を必ず確認しましょう。
※JAグループでは信頼される商品をお届けする為、出荷前のDNA検査に取り組んでいます。

大豆の管理について

☆大型雑草の除去は早めをお願いします!

一部に大型雑草やイヌホオズキなど汚損粒の原因となる雑草も見受けられます。現在の刈取り開始時期の目安は下表の通りですが、播種時期が遅れたものは生育の遅れから収穫時期も遅れる場合もありますので圃場を確認して判断願います。

令和4年産 大豆の刈取り開始の目安(成熟期+7日で試算)

品 種	リュウホウ	エンレイ	里のほほえみ
開 花 期	7月22日中心	7月23日中心	7月26日中心
刈取り開始時期	10月 7日頃	10月15日頃	10月20日頃

※あくまでも目安です。今後の天候で落葉・成熟が早まることもあります。

★ 秋季農作業事故防止強化期間 (9月1日~10月31日)

9月~10月は水稻の収穫時期を迎え、コンバインなどの大型農機を扱うため、春に次いで農作業事故が多くなる時期です。

作業を焦り、農作業事故が発生することの無いよう、ゆとりある作業計画を立てると共に事前に整備・点検し、機械の操作は慎重に行いましょう。



米生産履歴記録書の提出について

現在、米生産履歴記録書によりJA米要件を確認しております。

未提出の方は、早急に最寄りの営農課まで提出下さるよう、お願いします。



気象変動に負けない! 庄内みどりのつや姫・雪若丸

つや姫・雪若丸情報コーナー



- つや姫の早期落水は厳禁!
- つや姫の出穂20日後の葉色チェックは済みましたか?
この時期の葉色の目安はSPAD 値で35以下です。葉色の濃い圃場、濃い場所は別刈りを行なう等、おいしいつや姫に仕上げましょう。
- 登熟は順調に進行中! 適期刈取りを厳守!
刈取り晩限に留意した刈取り計画を作成し、適期内に刈り終るようにしましょう。刈取り晩限は、雪若丸 9/20 頃、つや姫 10/3 頃となっています。

園芸情報

娃娃菜栽培管理情報



栽培のポイント

灌水は、生育に「ムラ」が出ないように灌水チューブ等を使用し、均一に行うようにしましょう。

マルチは、娃娃菜マルチ(グリーン・最適な植付箇所に穴が空いている)を使用しましょう。

【基肥】MMB14化成 100 kg/10a、エコロング413M100 40 kg/10a

【栽植密度】ベッド幅 1m~1.2m、条間 30cm、株間 20cm 4条植

※ハウス栽培では、前作の残肥を考慮し、土壌診断後に適量の施肥を行いましょう

収穫遅れによる規格外品の発生を防ぐ為、段播きをお勧めします。一回に収穫出来る量を把握し2~3回に分けて播種する事で収穫遅れを防ぐ事が出来ます。播種の間隔は10日以上ある事が望ましいです。



定植後の管理ポイント

縁腐れ症や芯腐れの症状(カルシウム欠乏症)の予防の為、結球前から5~7日程度の間隔で2~3回液体カルシウム剤の葉面散布を行って下さい。追肥は液肥の葉面散布を定期的に行います。

☆ 早めの病害虫防除を心がけましょう。

定植後は病害虫の発生が懸念される為、薬剤防除や防虫ネットの設置で被害を未然に防ぐ事が重要になってきます。

高温期には軟腐病の発生を防ぐ為、過剰な灌水や頭上灌水を避けましょう。

定植~生育前半は、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、キスジノミハムシの発生に注意しましょう。害虫による食害は軟腐病の発生を助長する為、定植後20日頃に害虫防除を行います。(結球前の防除が重要)

結球始期~収穫前については、結球葉の中に害虫が入らない様に定期的にコナガ、ヨトウムシの防除を徹底します。

農薬散布は、薬剤抵抗性の出現を防止する為、作用性の異なる薬剤を輪用散布しましょう。



農薬による病害虫防除を行う場合は、収穫前日数等の農薬登録を確認し、必ず使用基準を守りましょう。防除暦に記載されていない農薬を使用する時は、必ず使用前に最寄りの園芸センターにお問合せください。

★次号の発行は10月11日です。